

コンピュータチェック事例コード

48SJ990619701

コンピュータチェック内容

マーカイン注脊麻用が1回20mg(4mL)を超えて算定された場合にチェックを実施。

コンピュータチェック根拠

医薬品添付文書の用法・用量より「通常、成人にはブピバカイン塩酸塩水和物（無水物として）1回10～20mg(2～4mL)を脊髄クモ膜下腔に注入する。なお、年齢、身長、麻酔領域、部位、組織、症状、体質に応じ適宜増減するが、1回20mg(4mL)を超えないこと。」と記載されています。

グラフの見方

- 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)
コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数
- 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)
コンピュータチェックの対象となった項目が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

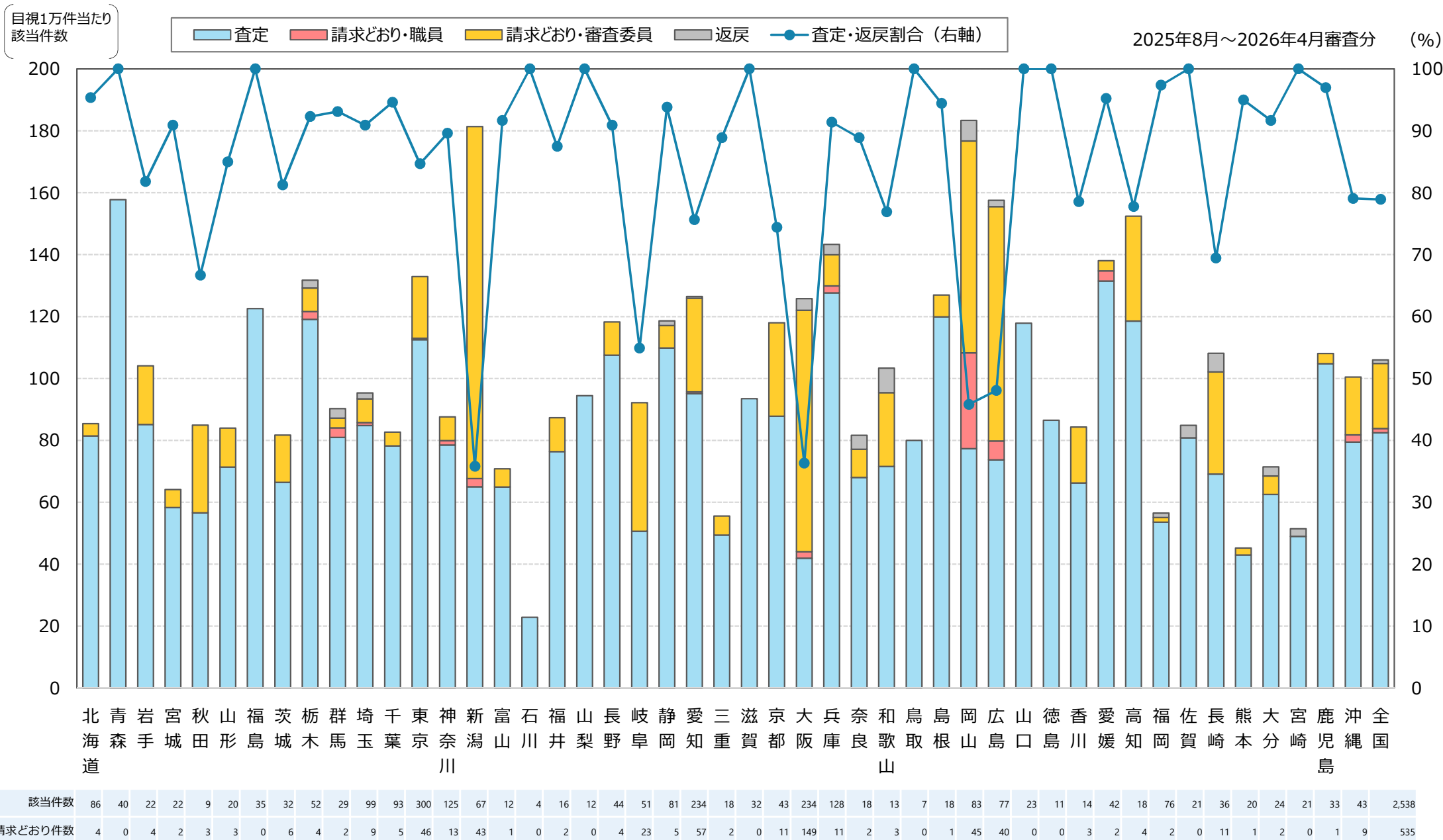
審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 78.92%
- 検証対象都道府県 19

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	新潟、大阪、岡山、広島、岐阜、秋田、長崎、京都、愛知、和歌山、高知、香川、沖縄、茨城、岩手、東京	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	岡山、広島、新潟、沖縄、大阪、愛知、東京	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	新潟、大阪、広島、岡山、岐阜、高知、長崎、愛知、京都、秋田、和歌山、東京、岩手、沖縄、香川、茨城	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数 (全国)	当該コンピュータチェックの内容に該当	2,538件
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	2,003件
検証を必要とする審査	請求どおり	535件



【該当件数】当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数